

県内企業景気動向調査報告（2022年1～3月期）

今期の「業況判断」は全業種で下降するも、来期は再び上昇する見通し

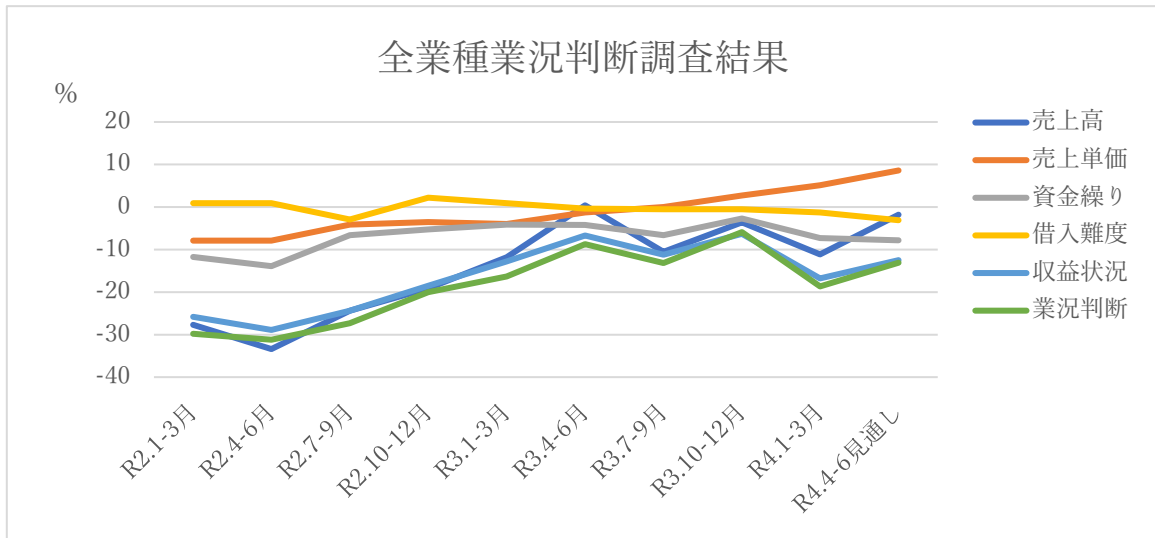
調査対象 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）

回収数 116社【製造業34社、非製造業82社（建設業22社、卸売業19社、小売業21社、サービス業20社）】

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は「売上高」「資金繰り」「借入難度」「収益状況」「業況判断」の5つの項目で前期よりも下降している。最も下降を示したのは「業況判断」で、前期から12.8ポイント下降した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から17.7ポイント、非製造業が10.7ポイントの下降を示した。非製造業は全ての業種で下降傾向を示しており、最も下降が大きかったのは卸売業で、前期から18ポイントの下降となっている。

来期の見通しについては、「売上高」「収益状況」「業況判断」の3つの項目で上昇する見通しとなっており、「収益状況」では4.3ポイント、「業況判断」では5.6ポイント、「売上高」では最も大きい9.3ポイントを示した。業種別の「業況判断」ではすべての業種で上昇する見通しとなり、最も上昇が大きかったのは小売業と製造業の5.6ポイントであった。



回収数	前年同期比*()内は2021. 1～3月期の数字							来期(2022. 4～6期)見通し*()内は前年同期の数字					
	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全産業合計 118	-11.1 (-11.8)	5.1 (-4.0)	-7.3 (-4.1)	-1.2 (0.9)	-16.8 (-12.8)	-18.7 (-16.3)	-1.8 (-11.1)	8.6 (-5.3)	-7.8 (-4.5)	-3.1 (0.0)	-12.5 (-11.9)	-13.1 (-14.4)	
製造業 34	-7.4 (-5.1)	10.3 (-2.7)	-13.3 (-6.6)	-5.9 (-4.0)	-14.3 (-12.2)	-16.2 (-17.1)	4.5 (2.6)	13.2 (-2.6)	-13.3 (-6.4)	-5.9 (-3.9)	-8.8 (-1.3)	-10.6 (-7.9)	
非製造業 84	-12.7 (-14.8)	3.0 (-4.6)	-4.9 (-3.0)	0.6 (3.0)	-17.9 (-13.1)	-19.7 (-15.9)	-4.3 (-17.3)	6.7 (-6.5)	-5.6 (-3.6)	-1.9 (1.8)	-14.0 (-16.7)	-14.0 (-17.3)	
(建設業) 23	-8.7 (-9.7)	-6.6 (-5.8)	4.6 (6.0)	6.8 (3.9)	-13.1 (-11.6)	-15.3 (-15.4)	-6.8 (-28.9)	0.0 (-15.4)	2.3 (-2.0)	0.0 (0.0)	-16.0 (-23.1)	-11.4 (-21.2)	
(卸売業) 19	-7.9 (-11.1)	21.1 (5.6)	0.0 (-8.4)	2.7 (2.8)	-13.2 (-2.8)	-21.1 (-8.4)	-2.7 (-8.9)	21.1 (2.9)	-2.7 (-5.9)	2.7 (3.0)	-13.2 (-14.7)	-15.8 (-14.7)	
(小売業) 22	-31.0 (-21.8)	4.6 (-8.7)	-19.2 (-13.1)	-6.9 (-4.4)	-31.8 (-19.6)	-31.8 (-15.2)	-11.9 (-24.0)	6.8 (-2.3)	-15.9 (-4.4)	-6.8 (0.0)	-20.5 (-17.4)	-26.2 (-18.6)	
(サービス業) 20	-2.5 (-16.7)	-5.0 (-7.2)	-5.3 (2.6)	0.0 (11.1)	-12.5 (-16.7)	-10.0 (-23.8)	5.3 (-2.4)	0.0 (-7.5)	-5.6 (-2.7)	-3.0 (5.3)	-5.3 (-9.6)	-5.3 (-11.9)	

BSI=1/2(X-Z)、X=上昇・増加、Y=横ばい、Z=減少・下降、ただし(X+Y+Z=100)

＜直面している経営上の問題点＞

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (24.2%)
- 2位：売上・受注の減少 (14.5%)
- 3位：消費・需要の停滞 (12.2%)
- 4位：経費の増加 (10.5%)
- 5位：人手不足 (9.33%)

<業種別の問題点等>

◆建設業

- ・切れ目のない公共工事の発注をお願いする
- ・原材料価格の上昇が昨年より続いている。コロナ、ウクライナ等々、世界情勢の悪化を身近に感じる。

◆製造業

- ・受注はあるが、部品の入荷状況が悪いため、生産が遅れている。
- ・電気、ガス等のエネルギー単価上昇や各種資材の値上げにより、利益の確保に苦慮している。対策を講じてほしい。
- ・新型コロナウイルスの影響大。現状、営業活動が制約される。

◆小売業

- ・物価高、ガソリン高をはじめとするエネルギー高による、海外輸入商品が値上がりが続いている。円安も加わって、毎月のように値上げの連絡が来ている。
- ・方向性を定めにくい。IT知識に乏しい。
- ・メーカー在庫不足の為顧客納入が遅れる。

◆サービス業

- ・調理人の不足、仕入価格の高騰に苦慮している。
- ・注文品の入荷遅延がおこっている。
- ・食材仕入単価はその後落ちついたものの、感染拡大により需要が低下し、2月の営業は10日となりました。当初余裕のあった資金も徐々に減少しており、新たな借入をしないと運転資金が乏しくなってきました。ただ、返済を考えるとなかなか厳しい状況です。